

青少年育成センターだより

第94号 2020.9.1

防府市教育委員会生涯学習課

青少年育成センター

0835-23-3013



本来ならば、9月1日から2学期が始まるころですが、今年は、すでに子どもたちは登校しています。短い夏休みでしたが、子どもたちなりに有意義に過ごせたのではないのでしょうか。今のコロナ禍での状況は、色々な面が制約され、ある面ではピンチの状態でしょう。しかし、将来、あの時に学んだもので、今は大変助かっているのだというものを身につける等、子どもたちには、このピンチをチャンスに変えていって欲しいものです。「コロナに負けるな子どもたち・・・」

お母さんの笑顔は子どもの笑顔に

「私には、悩みなんてないよ」と言われる方は、いらっしゃるのでしょうか？

おそらくそんな人はいらっしゃらないでしょう。どんなに、才能があり、お金があつて、人も羨み、幸せそうに見える人にも悩みというものはあるものです。

子どもをもつお父さん、お母さんにとって、子どもが乳幼児期であったり、少年期であったり、青年期であったり、その時期によって、悩む内容は違うことでしょう。（「青少年育成センターだより第76号」に、「子育て四訓」を紹介し、それぞれの時期の子どもへの接し方について書いています。参考にしてください）子育ての悩みも含めて、悩みはストレスになります。このストレスがあまりにも強すぎると精神を病んでしまうことにもなります。悩み事は、早く解決することが大切です。

みなさんは、どんな方法で悩み事を解消されていますか。趣味に没頭してみたり、体を動かしてみたり、好きなものを食べたり、いろいろな方法があります。一瞬でも忘れることができれば気持ちが楽になるのですが、悩みの完全な解消にはならないでしょう。悩みを解消するよい方法は人に相談することが一番です。

子どもに関する相談であれば、同じ年代の子どもをもつ親、学校の先生（いつも子どもの様子を見ておられる担任の先生、相談担当の先生、養護の先生）等がよいでしょう。また、相談を受け入れてくれる専門機関もたくさんあります。（市の関係の相談場所は、[子育て支援課 TEL23-5300] [学校教育課 TEL23-1135、（フリーダイヤル=0120-078-357）] [生涯学習課 TEL24-3232、（フリーダイヤル=0120-783-474）] 等、その他、国や県の相談場所もあります）これらの相談機関を活用するようにしましょう。気持ちが楽になったり、解決の糸口が見つかったりするものです。特に、お母さんにとって、仕事や時間に追われながらの日々の子育ては大変です。子どもが言うことを聞いてくれなかったら、イライラしたりするものですが、その時に自分を「ダメなお母さん」と自分自身を責めたりしないことです。自分一人で抱え込まないように、誰かに相談することで解消しましょう。

子どもにとって、お母さんの笑顔が一番の心の安定につながります。子どもは、お母さんの心を読み取ることに長けています。家庭の中で、お母さんの笑顔が増えると子どもの行動も落ち着いて家族の笑顔が増えてきます。お母さん、いつも笑顔でいましょうね。お母さんは、家の中の太陽なのですから・・・。

ここで素敵な言葉を紹介します。

「10億の人に10億の母あらむ わが母にまさる母ありなむや」（暁鳥 敏）

（文責＝青少年育成センター指導員 藤村）